

今回のテーマ

アーティスト対談

取手や千葉、東京で活躍するアーティストの知念ありささんと、教職の傍ら音楽活動を行う五木田洋平さん。普段から仲良しのお二人にトークしてもらいました。読めば別世界の住人のように思えるアーティストも身近に感じられるかも！

発信することも大切なプロセス

五 PCで作曲りを始めたのは約7年前。音楽系SNSにアップした楽曲が、たまたま大阪芸大の卒業制作に使われることになった。

知 すごく！

五 その作品が学料賞を取ったり、T O H O シネマズ学生映画祭のオープニングを飾ったりしたことで、活動の幅が広がりました。

知 私、アート活動って作品を生み出すのはもちろん重要だけど、発信も重要だと思ってるんです。自分の活動を人に知ってもらうことで、何かのときに思い出してもらえたり、自分からも声を掛けやすくなる。

五 分かります。今年の夏休みは時間が取れたので、週一ペースで動画サイトに楽曲をアップしていました。そしたら、あり

ささんから声が掛かって…。

知 作品作りの過程を動画にしたいと考えていて、音楽どうする？となったときに、五木田さんのことが頭に浮かんだんです。最近曲をアップしてたなって。

五 あれがなかったら、ありささんのコラボも、今日のこの場もなかったかもしれない。

知 SNSも手段の一つだけど、人とつながることですごく

知 知念 ありささん

Profile

1987年生まれ。ロンドン芸術大学卒業、2012年に東京芸術大学先端芸術表現専攻修士課程修了、2016年に同校博士課程修了。釘と糸で幾何学模様などを描く糸かけストリング・アートと点描画の技法を用いた作品を展開。現在、東京芸術大学先端芸術表現科教育研究助手も務める。

TALK

五 五木田 洋平さん

Profile

1985年生まれ。中学時代からギターに親しみ、高校、大学はバンドで活動。卒業後は、エレクトロニカやハウスをメインに楽曲を制作し、動画サイトやネットレーベルを通じて発表。さまざまなアーティストとのコラボレーションも多数行う。本職は私立小学校の教師。

「アーティストは特別じゃない！」

きっかけやアイデアが生まれるのが面白いですね。

五 実は過去に、ビジネスとして音楽を捉えてしまっただけで、全然作れなくなったことがあるんです。ありささんはどうですか？

知 葛藤した時期もありましたが、今は受け手が喜んでくれるからOK！という気持ちが大きいです。気に入って買ってくれた人は、私よりずっと長い時間を作品と過ごすことになるし、次の世代へ受け継がれるかもしれない…。時空を超えて誰かのそばにあるってすごいことですよね。

五 確かに僕も、離れた場所や知らない誰かと会話ができてるのが音楽を作っているいいなと思う点です。でも「これはイ

ける！」と確信したものが、ふたを開けてみたらそうでもないということってない？（笑）

知 逆に誰も欲しがらないだろうな…というものが、意外とウケたり（笑）。

五 だけどそこを分析し始めると楽しめなくなりそう。やっぱり最後は自分の感性を信じるしかないのかも。

知 悩みつつ…ですよね。アーティストというと、全てを捨てて制作に没頭してると思われがちですが、そんなことはなくて。私は子育てしながら活動しているし、子どもたちがいるから続けられる。

五 僕もクリエイティブな作業は特別なことではないと思ってます。教師という仕事も大事だし、曲作りも好き。

知 作品を通じて人とコミュニケーションを取れるのも魅力ですよね。

五 いろんなクリエイターと出会えたことで、多様な感性があることを知りました。教育の現場でもそこは大切にしています。



CROSS

